

ふくし TIME'S

<http://www.progress.co.jp/members/jinsyakyo/>

福祉タイムズ



ともしび運動

1

2008 No.674



笑顔あふれる 私のまち

〈写真・菊地信夫〉

「みんながともに生きるまち」をテーマにした第28回ともしびポスターコンテストには、1,891点もの心あたたまる作品が寄せられた。

大賞を受賞した厚木市立毛利台小学校6年生の大内莉奈さんのポスターのタイトルは「笑顔あふれる私のまち」。今回、コンテストのテーマから題材を考えたとき、頭に浮かんだのがみんなの「笑顔」だった。「みんなが笑顔になるには、あいさつを交わすことや声をかけることが大切だと思うんです」と話す大内さん。普段から、困っている子に声をかけたり、下級生の面倒をよく見たりするよう心がけている。

ポスターに描かれている登場人物は大内さんの家族をイメージしており、背景のひまわりも庭に咲くものだという。絵の中の車いすについては、「夏休みの自由研究で調べたり、学校の総合学習の時間に実際にさわってみたりしたことがあります。それにお父さんがケガをしたときに使っていたのを見ていたから上手く描けたのかな」とはにかむ。

今一番熱中していることはソフトテニス。来年入学する中学校ではソフトテニス部に入りたいという。「絵もスポーツも一生懸命な大内さんの周りには、いつもたくさんの友達の笑顔がありますよ」と担任の先生が話すように、大内さんの笑顔はポスターのひまわりのように元気いっぱいだった。

CONTENTS

NEWS&TOPICS

アビリンピック神奈川2007..... 3

特集

2007年福祉の動き..... 4

参加と協働

シニアフェスタ・ねりんピックの結果紹介... 7

連載

神奈川の福祉は今—川崎市の巻—..... 10

県社協のひろば

社会福祉施設の地域福祉推進を考えるセミナー... 12

かながわHOT情報

ともしび絵本コンテスト大賞作品紹介..... 16

恭賀新年

会員の皆様をはじめ、関係者の皆様とともに、健やかな新年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

昨年は、介護保険法、障害者自立支援法の見直しの動きがあるなど県民生活と直結する福祉制度が大きく変わる一方、福祉現場での人材不足も深刻なものとなりました。

反面、いわゆる「二〇〇七年問題」といわれている「団塊の世代」の退職が始まり、シニア関連事業への積極的な参加など新たな動きも生まれつつあるところです。

経済の分野におきましては、単に成長率だけを追い求めるのではなく、着実かつ安定した成長として質を高めていく気運が大きな流れとなりつつありますが、福祉の分野におきましても「福祉サービスの質の向上」がサービス利用者、サービス提供者双方において従来になく大きな関心事となってきました。

本会では、活動推進計画の目標に掲げた「一人ひとりの主体的な参加による公私協働の福祉コミュニティづくり」に向け、こうした福祉を取り巻く環境の変化に対応し、事業評価に積極的に取り組むとともに、ともしび運動新行動指針をもとに県民が福祉活動に参加しやすい土壌にむけて、会員の皆様をはじめ、多くの県民の皆様とともに、着実に事業を推進してまいりたいと考えております。

皆様には、旧年にも増してご理解、ご支援を賜りますとともに、県民の皆様により良き年となりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。



社会福祉法人
神奈川県社会福祉協議会

会長 林 英樹

第二回神奈川県成長力底上げ戦略会議「福祉人材の確保にむけて」

経済成長を下支えする基盤（人材能力、就労機会、中小企業）の向上を目指し、国は「成長力底上げ戦略」を推進しているところですが、去る十二月十八日、前回開催以降の国・県の動向を踏まえ、第二回の神奈川県版の円卓会議（主催は厚生労働省）が開催されました。

今回の会議では、国及び県の関連施策の説明のほか、産業・労働界、福祉関係等の出席者の活発な意見交換が行われました。その中で、第一回の円卓会議（六月十一日開催）にて本会の林会長が提言した、主に若年層向けの『デュアルシステム』（※）の対象を拡大し、母子世帯やセーフティネットの対象者も利用できるよう提案したもののについて、施策化の検討がされていることが報告されました。これを受けて、システムの実習先には、企業だけではなく人材確保が困難な福祉分野も対象としてほしい旨を要望しました。

あわせて、中小企業関係者からの「国への要望はするものの中小企業

自身も運営改善の自己努力を進めていく」との発言に関連し、国の社会保障審議会介護給付費分科会作業部会で出された報告書に盛り込まれた①適正に人件費を配分できる事業運営モデルの確立と②介護報酬の地域格差設定の流れについて言及し、介護労働の改善に向けて厚生労働省内の各部署が一体となって取り組んでほしい旨期待を込めて発言しました。

※デュアルシステムとは、企業における実習訓練と教育訓練機関における座学とを一体的に組み合わせた教育訓練を行うことにより、若年者を職業人に育てる新たな人材育成システムです。

職業技能を競い合つて～第五回神奈川県障害者技能競技大会～アビリンピック神奈川二〇〇七開催～

障害のある方々が日頃、職場や学校で培った職業技能を競い合う第五回神奈川県障害者技能競技大会（通称・アビリンピック神奈川二〇〇七）が、十二月一日、相模原市の神奈川障害者職業能力開発校で開催されました。

アビリンピックは障害のある方の

職業能力の向上、また障害のある方々に対する社会の理解と認識を深め、雇用の促進と地位の向上を図ることを目的としています。本大会ではビルクリーニングや木工、ホームページ作成などのパソコン操作、喫茶サービス、縫製、紙工などの十二部門で競技が行われ、総勢九十九名の選手が技術を競い合いました。

紙工部門では、ダンボール箱の仕切りを組み立てる作業の速さと正確さが競われ、スピード感あふれる競技の様子に多くの来場者が見入っていました。また、実演により接客技術を競う喫茶サービス部門では、競技開始の合図とともに会場内が緊張感に包まれ、来場者も息をのんで選手たちを見守りました。

本大会では競技の他にも、障害者雇用の活動状況についてのパネル展示や講演会が設けられ、講演会では川崎市高津区にある特例子会社(株)富士通ゼネラルハートウェアから、障害のある方が仕事をしやすい環境づくりに向け同社が構築した「目で見る（絵柄）管理手法」などの取組みが紹介されました。

本大会の各部門の優勝者は平成二

十年に千葉県で開催されるアビリンピック全国大会への参加を推薦されます。さらに平成二十二年には、本県で全国大会が開催されることも決まっております。今後、ますます注目が高まります。



手際よくダンボール箱の仕切りが組み立てられていきます

「子ども・子育て支援大賞」創設 ～表彰候補を募集します～

県では、かながわぐるみで子ども・子育て支援を進めるため、子ども・子育て支援に取り組み、地域に貢献している事業者や個人・団体の活動を表彰する制度を設けました。

【対象】

次のいずれにも該当する取組みが対象となります。

◇神奈川県内において活動を行っている事業者、個人又は団体

◇子ども・子育て支援活動のモデル

となるような実践的な活動

◇地域の子どもや子育て家庭に対する貢献度が高いと認められるもの

◇原則として、対象となる活動年数が継続して二年以上あること

【表彰の種類】

- ①かながわ子ども・子育て支援大賞
- ②かながわ子ども・子育て支援奨励賞（事業者部門、個人・団体部門）

【副賞】

大賞十万円、奨励賞各五万円

【応募方法】

所定の応募書により郵送又は持参（自薦・他薦いずれでも応募可能）※ホームページから応募用紙がダウンロードできます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kodomokatei/jisedai/hyousyoutaisyououseu.html>

【応募の締切】

平成二十年二月八日（金）

【選考及び結果の発表等】

審査会による一次審査を経て、知事が決定し、二月下旬に県ホームページに掲載します。

【問合せ】

神奈川県保健福祉部子ども家庭課

☎045-210-4666

福祉関連のうごき（○数字は本紙での関連記事掲載月）	
1	○厚生労働省、平成18年度の人口動態統計の年間推計値をとりまとめ、出生数は108万6000人で、昨年より2万3000人増と発表。 ○児童虐待への対応を強化するため、児童相談所運営指針などを改正。明確でなかった目視による子どもの安全確認の期限を、通告受理後「48時間以内」と明記。 ○中央福祉人材センターの2006年度上半期職業紹介実績報告によると平均有効求人倍率が1.46倍となり、前年の同時期に比べ0.48ポイントも上回ったことが明らか。特に高齢者福祉・介護分野は1.98倍と高く、人材難が深刻化。 ○シテ世代のための就業支援施設「シア・ジョブスタイル」かながわがオープン。 ★県福祉作文コンクール表彰式開催。応募点数は1万484篇。②
2	○熊本市の慈恵病院の国内初の「赤ちゃんポスト」の設置を同市に申請した問題で、厚生労働省は、設置を認める考えを市側に示した。 ○内閣府、「配偶者からの暴力（DV）の被害者の自立支援等に関する調査」の結果をまとめ、被害者の3人に2人が月収15万円未満で生活していることや、1人の被害者が複数の困難を抱えていることが明らか。 ★介護保険の改正で今年度から導入が決まった介護職員基礎研修を本会でも実施。 ★ITの活用意義を知ってもらうよう、IT機器等活用ビデオを製作。②
3	○乳幼児の児童手当の増額等を盛り込んだ「改正児童手当法」、参院本会議で可決成立。 ○厚生労働省と文部科学省、社会福祉士及び介護福祉士法等の一部を改正する法律案を国会に提出。 ○津久井郡城山町と同郡藤野町が相模原市に編入合併され、これにより人口が政令指定都市昇格要件の70万人を超えた。 ○県、「子ども・子育て支援推進条例」を制定。10月に施行予定。 ★自助具啓発冊子「自助具って何？」を発行。③ ★県社会福祉会館に「としびショップ」開店。④
4	○訪問介護事業の大手3社による介護報酬不正請求が発覚。厚生労働省は広域事業展開の訪問介護事業所の虚偽指定申請について速やかに監査するよう都道府県に通知。 ○内閣府が実施した「障害者に関する世論調査」において、国が決めた「障害者週間」について、「知らない」と答えた者の割合が72.5%に達することが分かった。 ○内閣府の災害時要援護者対策の進め方について、防災と福祉の各関係部局との平時からの連携の大切さを訴える内容に。 ○政府の多重債務者対策本部は、生活福祉資金貸付、母子寡婦福祉貸付金等のセーフティネット貸付を充実することなどを盛り込んだ「多重債務問題改善プログラム」を策定。 ○県、知的に障害のある方を、県庁内の文書集配や印刷等を主な業務として雇用。 ○県立保健福祉大学、高度専門職の育成を目指した大学院を開設。 ★としび運動「新行動指針」（素案）への意見募集。④
5	○児童虐待の疑いがある場合、児童相談所に家庭への強制立ち入り権限を付与することなどを盛り込んだ改正児童虐待防止法が可決成立。2008年4月から施行。 ○政府の経済財政諮問会議「成長力加速プログラム」において、母子世帯や被保護世帯、障害者などが就労による自立・生活の向上を図れるようにする「就労支援戦略」を進めることを盛り込んだ。 ○厚生労働省、2006年度のハローワークでの障害者の就職件数が初めて4万件を超え、過去最高となったことを明らかにした。 ○厚生労働省社会保障審議会福祉部会において、福祉関連領域の人材確保も図る等の福祉人材確保指針見直し骨子案を示した。 ○共同募金運動の在り方を検討していた中央共同募金会企画・推進委員会は、「市民が集めて市民が使え」といった循環するサイクルに転換することを求める答申を行った。
6	○厚生労働省、2006年の合計特殊出生率が前年比0.06ポイント増の1.32になったなどとする人口動態統計概数を発表。 ○仮出所者の再犯防止のため保護観察を強化する更生保護法が、参院本会議で可決成立した。08年6月までに施行。 ○内閣府、少子化対策に役立てるために11月の第3日曜日を「家族の日」と定め、その日を挟んだ前後1週間を「家族の週間」として関連イベントを毎年企画していくと発表。 ○2007年版「障害者白書」が閣議決定。特に精神障害を持つ人の数が2005年に約303万人と初めて300万人を超えたことがわかった。 ○自殺対策の指針「自殺総合対策大綱」閣議決定。早期対応人材にケアマネジャーや民生児童委員を挙げ研修を行うことが重点施策に。 ★福祉教育プログラム開発検討委員会報告書まとまる。⑥ ★第6回「かながわ高齢者福祉研究大会」、パシフィコ横浜で開催。⑦
社会のうごき・事件・事故	
▽大手洋菓子メーカー、消費期限切れ牛乳使用で洋菓子販売を休止 ▽宮崎県知事にタレントの「そのまんま東」氏、初当選 ▽パナソニック・ウィンドウズシリーズの新製品「ウィンドウズピスタ」発売される ▽1月末時点の携帯電話等の契約台数が1億台を突破。人口普及率は78.5% ▽国内初の大都市マラソン「東京マラソン2007」開催。3万人が参加 ▽北海道夕張市が財政再建団体に移行 ▽平年より73日遅く、都心で初雪を観測 ▽能登半島沖を震源とするマグニチュード6.9の地震発生。石川県輪島市等で震度6強を観測 ▽俳優の植木等さん死去。享年80歳 ▽新潟県新潟市と静岡県浜松市が政令指定都市に移行 ▽改正学校教育法施行により助教が「准教授」に ▽アメリカの大学で銃の乱射事件発生。アメリカ犯罪史上最多の犠牲者に ▽社保庁加入記録、該当者不明が5000万件に ▽総務省、2006年10月1日現在の推計人口では、昭和生まれはじめて1億人を割ったと発表 ▽全国の小学6年、中学3年対象にした全国学力・学習状況調査、43年ぶりに実施 ▽国連部会、地球温暖化報告書を採択 ▽農林水産大臣、議員宿舎内で首つり自殺 ▽プロ野球読売巨人軍、史上初めての通算五千勝を達成 ▽大相撲第69代横綱・白鵬が誕生 ▽日本に住む外国人登録者数は06年末現在で208万と過去最高を記録 ▽前大阪府知事・タレント横山ノックさん死去。享年75歳 ▽9年連続で3万人を超えている自殺者数の減少を図るため、「自殺総合対策大綱」を閣議決定 ▽東京都渋谷区で、女性専用温泉施設の別棟が爆発して全壊 ▽サッカーくじ、史上初の6億円飛び出す ▽国連人口基金、07年版の「世界人口白書」を発表。世界の人口は、75億60万人増え、66億1590万人に ▽自民党元首相の宮沢喜一さん死去。享年87歳	

7	○厚生労働省、「福祉人材確保指針」の案をまとめ、社会保障審議会福祉部会に提示。介護福祉士の資格取得者を報酬で評価する仕組みや、人員配置基準のあり方について検討するほか、定期的に評価検証して対策を講じていく等が盛り込まれる。 ○民生委員制度の始まりとされる清世顧問制度が誕生90年を迎えることを記念し、全国民生委員児童委員大会90周年記念大会を開催。 ○全国の児童相談所が対応した2006年度の虐待相談件数が、過去最多の3万7343件に。 ○虚偽の指定申請により介護保険事業から撤退する訪問介護最大手会社が、事業の移行計画を厚生労働省に提出、了承される。 ○県、新しい総合計画「神奈川力構想」の「基本構想」と「実施計画」を策定。 ○県、県内の大手訪問介護事業所の不適正な人員配置に対し、「人員基準違反」を指摘、「再発防止」の文書指導を行う。 ○県教育委員会、新潟県中越沖地震の被災高校生の県立高校受入れ支援策を発表。 ★本会ならびに3市社協の職員、新潟県中越沖地震被災地への支援活動を展開⑨	▽第21回参院選の開票により民主党第1党に。自民党は初めて参院第1党の座を滑り落ちる ▽新潟県中越沖を震源にマグニチュード6.8の地震発生。柏崎市など震度6強を観測 ▽県、未成年者の喫煙や飲酒を防止を目的に、販売店や飲食店に身分証明書での年齢確認を義務付ける県青少年喫煙飲酒防止条例を施行
8	○訪問介護最大手会社、有料老人ホームなどの居住系介護サービス事業を、介護業界の別の会社に譲渡することを決定。 ○介護労働安定センター、全国の介護サービス事業所を対象に「介護労働実態調査」の結果をまとめ、一年間の離職者約3万6000人のうち、勤続年数が1年未満だった人は4割以上、3年未満で8割にも達していることがわかった。 ○厚生労働省、インドネシアの間で締結した経済連携協定(EPA)に基づき、看護師や介護福祉士の受け入れを2年間で合計1千人を上限とすることを明らかに。 ○県、療養病床再編後の地域の受け皿となる介護サービスや在宅医療の必要量を見込む地域ケア体制整備構想「仮称」の素案をまとめる。 ○相模原市、介護家族を支援し高齢者虐待を未然に防ごうと、24時間体制で相談に応じる無料電話相談窓口を開設。 ★本会、「福祉サービス利用者意向調査キット」提供開始⑤	▽北海道の大手菓子メーカー、賞味期限を改ざん ▽岐阜県多治見市と埼玉県熊谷市で観測史上最高の40.9度を記録。74年ぶりの更新 ▽米ミネソタで高速道の橋崩落、川に車50台落下 ▽米玩具大手、中国製1860万個を回収へ ▽横綱朝青龍、2場所出場停止に
9	○国内の一〇〇歳以上の高齢者が、初めて3万人を突破したことが、厚生労働省のまとめでわかった。 ○厚生労働省が高齢者虐待防止法施行後に初めて行った2006年度の全国調査で、高齢者に対する虐待が家庭内で1万2575件、施設内で53件発生していることが分かった。 ○国連本部において、外務大臣が障害者権利条約に署名。これにより条約の定める法的義務にあわせ国内法を変えるなどの措置が必要に。 ○厚生労働省、全国の自治体が策定した障害福祉計画を集計し、2011年度までの施設入所者の削減目標を1万1000人にする」と発表。 ○地域福祉の現状と課題を分析し、社協や民生・児童委員など地域福祉に関連の深い既存の施策を見直しと法改正も視野に、厚生労働省がこれからの地域福祉のあり方に関する研究会を設置。 ○県内の介護保険利用者の介護事故が、2006年度の件数は約7、800件、死亡者数は158人と過去最多に。 ★県、伊勢原市合同総合防災訓練実施 本会、市町村社協も参加し、「情報伝達訓練」等を実施⑩	▽安倍晋三首相、退陣する意向を明らかにし、その後の総裁選で福田康夫氏が第22代総裁に ▽大リーグイチロー外野手。移籍以降7年連続のシーズン200安打を達成 ▽世界柔道、谷亮子選手が最多の7度目V ▽県教育委員会、向こう20年間にわたって神奈川の人づくりの指針となる「かながわ教育ビジョン」を策定 ▽台風9号の直撃で西湘バイパスの路面崩落、十文字橋の落橋
10	○国立社会保障・人口問題研究所、2005年度の年金・医療・介護等の社会保障給付費が87兆9150億円、国民1人当たりの給付費は68万8100円だと発表。今回過去最高を更新。 ○厚生労働省の全国母子世帯等調査結果によると2005年の母子世帯の平均年収は213万円と全世帯平均の4割未満であることが明らかになり、依然として低い水準に。 ○社会福祉士及び介護福祉士法等の一部を改正する法律案が臨時国会で成立、改正法の公布後5年をめぐに「准介護福祉士」の検討規定を盛り込む修正案で可決され、付帯決議は11項目に。 ★県社会福祉大会開催⑪ ★ともしび運動「新行動指針」策定⑫	▽日本郵政公社が民営化 ▽神奈川県西部を震源とする地震発生。箱根町で震度5強を観測 ▽もち菓子の老舗メーカーが、製造年月日を偽って表示、販売していた疑い ▽県議会本会議、知事の任期を3期12年までとする全国初の多選禁止条例案を可決、成立
11	○改正身体障害者補助大法、補助大を連れた障害者の受け入れを企業に義務づけるなどを盛り込む等の内容で可決成立。2008年4月に施行され、10月から企業の受け入れ義務化へ。 ○2006年度に全国の小中高校が把握したいじめの件数は約12万5000件に上ることが、文部科学省の調査でわかった。調査対象を拡大したり、いじめの定義を変えたりした影響もあり前年度の約6倍に。 ○厚生労働省、平成19年度ホームレス実態調査の分析結果を発表。今回調査で、新たにホームレスとなる新規参入層の割合が減少し、路上に長く留まる長期層や路上と屋根のある場所を行き来する再流入層の割合が増加していること等が確認された。 ★県民児協「民生委員児童委員による災害時の要援護者支援活動指針」を発行⑫	▽全国のレギュラーガソリンの平均店頭価格が初めて150円を突破 ▽前防衛次官、収賄容疑で逮捕 ▽プロ野球日本シリーズ、中日が53年ぶり2度目の日本一に ▽マサチューセッツ「アジアチャンピオンズリーグ」で浦和レッズ、初のアジア王者に
12	○消防庁では全国1827市区町村における災害時要援護者の避難支援対策取組状況を調査し、防災関係部局・福祉関係部局や検討委員会等、全体の15.8%が設置している」と前年の8.3%の倍近くに達していることが分かった。 ○政府、全都道府県と市区町村に、少子化対策の「総合司令塔」となる推進本部を設置する方針を固める。 ○厚生労働省、2005年度厚生労働省生命表を発表。もともと平均寿命の長い都道府県は、男性は「長野県・79.84歳」、女性は「沖縄県・86.88歳」。 ○政府の障害者施策推進本部、57項目の数値目標を盛り込んだ新たな重点施策実施5か年計画を決定。 ○平塚市で議員提案による全国初の自殺対策条例案となる「平塚市民の「いのち」を守る条例」案が可決。	▽長崎 佐世保のスポーツクラブで銃乱射事件 ▽首相、年金問題の「最後の1人までチェックして年金を支払う」という内容を撤回。陳謝の方向へ ▽首相、薬害肝炎被害者らの一律救済法案を議員立法で成立を目指す方針を表明

読んでみよう！

★定年・転職

からはじめる 介護NPOビジネス (小鉢透著、本の泉社)
定年後は社会貢献をしたいと思われている方へ、介護ビジネスについてやさしくわかりやすくアドバイスしています。団塊の世代や主婦層の豊かな経験が、超高齢社会での望ましいサービス提供に活かされます。

★高齢者福祉サービス 生活相談
援助・業務マニュアル (神奈川県高齢者福祉施設協議会、中央法規)

★心を動かす介護・特別養護老人ホーム道志会 感動のシーン (川邊

溪子著、文芸社)

★心に寄り添う個別介護手順書の作り方 (伊藤美知著、三輪書店)

★高口光子のはじめてのケアリーダー編 介護保険施設における看護介護のリーダー論2 (高口光子・杉田真記子著、医歯薬出版)

★基礎から学ぶ 気づきの事例検討会 介護スバーバイザーがいなくても実践力は高められる (渡部律子編著、中央法規)

★実践事例で学ぶ 介護予防ケアマネジメントガイドブック (三菱総合研究所ヒューマン・ケア研究グループ編、中央法規)

価値あり！

★学童保育の実態

と課題 2007年版実態調査のまとめ (全国学童保育連絡協議会)

現在の学童保育の実態とともに、学童保育が法制化された10年間はどのような変化があったのか、またどのように拡充・発展されてきたのかを確かめられる内容となっています。

★デイサービスの支援効果調査研究報告 利用者インタビューから導いた支援効果と誘因分析によって体系化された支援技術 (東京都社会福祉協議会)

★利用者の声をよりよいサービス提供につなげるために VOIC3

く認知症高齢者グループホーム外部評価 利用者家族アンケートから見えてきたこと (神奈川県社会福祉協議会)

★平成18年度 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況等に関する調査結果 (厚生労働省老健局計画課)

★2007年版 新任民生委員・児童委員の活動の手引き

(全国民生委員児童委員連会)

★出会い、ふれあい、心の輪 心の輪を広げる体験作文障害者週間のポスター平成19年度入賞作品集 (内閣府)

★知的障害者のための職場改善に関する好事例集 いきいきと働く障害者を支える職場づくり (高齢障害者雇用支援機構)

★精神保健研究所年報第20号 (国立精神・神経センター)

私のおすすめの1冊



『なんでもできる片まひの生活—くらしが変わる知恵袋—』

白田 喜久江, 藤原 茂著

神奈川県立保健福祉大学 リハビリテーション学科 作業療法専攻教授 長谷 龍太郎

山口県山口市にある「夢のみずうみ村」は、障害のある人々が生活できる能力を確認する施設です。この施設の利用者である白田喜久江さんは、脳卒中のために左半身のまひがあります。紹介する本は、白田さんと施設の代表である藤原茂さんが書かれた、まひがあっても生活ができる具体的な方法を示した本です。女性であれば、まひがあっても、家事をして家族に喜ばれると生活に張りがでますし、主婦としての存在感を再認識できます。

読者の方は、この本を手にとると、片手でリンゴの皮をむくときにお茶碗を利用する等の色々な工夫や道具に驚かれるかもしれません。しかし、支援される対象として思われがちな障害者本人が自ら行った生活上の工夫を執筆したというだけに、その内容は具体的で分かりやすく、驚きつつも納得できる内容が多々あるのです。



2003年6月発行
2,520円(税込)
青海社

「福祉情報資料室」をご利用ください！

閲覧室のほか、文献検索、利用相談等のサービスを行っています。

◆利用時間：月～金(第3金曜、祝日、年末年始等を除く)の9時～17時

◆問合せ：☎045-311-8865
FAX 045-313-9341

◆インターネットでの資料検索
<http://www.progress.co.jp/members/jinsyakyoto/soyo/>

～「新着情報コーナー」をぜひご利用ください！～



参加と協働のページ



シニアフェスタ2007 競技種目の開催日

種目	開催日
卓球	11/17
グラウンド・ゴルフ	11/17
ダンススポーツ	11/17
剣道	11/17
弓道	11/17
ゲートボール	11/18
ソフトバレーボール	11/18
ベタンク	11/18
ソフトテニス	11/19・20
太極拳	11/23
ソフトボール	11/23・24 12/1
テニス	11/24・25
サッカー	11/24・25

シニアフェスタは、高齢者の日頃の健康づくり、スポーツ活動の成果を発表する機会及び交流の場を提供し、高齢者の健康・生きがいづくりを支援し、明るく活力あるかながわの長寿社会づくりを推進することを目的に開催するもので、今回で三回目となりました。平成十九年十一月十七日から十二月一日までの間に、神奈川県立体育センターの他、県内の六会場で十三種目の競技大会を行う

シニアフェスタ2007

ゆめかながわスポーツ健康シニアフェスタ
第20回全国健康福祉祭いばらき大会
ねんりんピック茨城2007県選手団派遣
シニアフェスタ2007開催

第20回全国健康福祉祭 いばらき大会・交流大会結果

種目名	成績結果
卓球	第1位グループ優秀賞
テニス	第4位グループ優秀賞
ソフトテニス	ご健闘されました
ソフトボール	ご健闘されました
ゲートボール	ご健闘されました
ベタンク	優勝
弓道	第3位
剣道	第3位
グラウンド・ゴルフ	ご健闘されました
太極拳	優秀賞(8位)
ソフトバレーボール	第1位グループブロック別準優勝
サッカー	ご健闘されました
ダンススポーツ	団体戦:準優勝 個人戦:スタンダードの部(ワルツ).....優勝 個人戦:スタンダードの部(タンゴ).....第3位 個人戦:スタンダードの部(タンゴ).....優秀賞
健康マージャン	ご健闘されました



シニアフェスタ2007
ソフトボール大会

い、天候にも恵まれ、無事に終了しました。永年練習を重ねたテクニクと、いきいきはつらつとしたプレーに、シニアならではのパワーを感じました。



第20回全国健康福祉祭いばらき大会 ダンススポーツ個人戦、スタンダードの部(ワルツ)優勝 藤田昌邦、藤田ヒロ子ペア

去る十一月十日から十三日までの間に行われたねんりんピック茨城2007に百八人の県選手団を派遣しました。皆さんのご健闘により、別表のとおり優秀な成績をおさめ、無事帰県しました。

第20回全国健康福祉祭いばらき大会 ねんりんピック茨城2007

小田急線で行く相模原の旅 ～相模原・相模大野のニュースポット～

『相模原』と言えば、2006年から2回にわたり周辺の旧4町が旧相模原市と合併し、2007年3月には現在の相模原市として生まれ変わったことで記憶にも新しいまちです。今回は、2007年12月にニューオープンした駅施設や駅ビル情報をいち早くキャッチ！ 新『相模原市』のうち小田急線沿いの便利なスポットをご紹介します！

NPO法人 神奈川県障害者自立生活支援センター

通称KILC（キルク）。1997年4月設立。障害者の自立生活を目指してピアカウンセリング（障害者による相談事業）や各種情報提供、障害者施策の研究・提言など障害当事者の目線で共生社会の実現を目指した活動を展開。現在、以下の3ヶ所を拠点に活動中。

<厚木事務所／法人本部> 厚木市愛甲953-2

☎：046-247-7503 FAX：046-247-7508

<平塚事務所／デイサービスセンター・キルク> 平塚市桃浜町2-36

☎：0463-35-2710 FAX：0463-35-2786

<足柄事務所／あしがら自立生活センター> 南足柄市関本609-1

☎：0465-71-0501 FAX：0465-71-0502

法人HP(URL) <http://www.kilc.org> E-mail info@kilc.org



駅直結の新便利スポット、
ラクアル・オダサガ

生まれ変わった『おださが』
～新バリアフリー駅と駅ビル情報～
通称『おださが』で親しまれている小田急小田原線の『小田急相模原駅』は、急行が通過する駅の中では二番目に利用客が多いにも関わらず、不便の多い駅施設でした。それが近年、駅舎駅前再開発が進められ、二〇〇七年に入り順次エレベーターが駅舎各所に設置されるなど、便利な駅施設へと変貌を遂げています。北口の駅前広場やロータリーなどはまだ工事中ですが、おださが駅ビル『Rac-AL Odasaga（ラクアル・オダサガ）』が十二月二日に新規オープン！早速、この新施設を訪れてみました。

改札を北口の方へ出ると、そこは



3階のあるお店の前。どこの通路やスペースも、広々とした造りになっています

ラクアル・オダサガの二階フロアに直結しています。店内に入って驚いたのは、お店が並ぶ通路や随所に設けられているスペースの広いこと！車椅子ユーザーでも悠々と通ることのできる広さがあり、圧迫感が全くないので開放的なショッピングを楽しむことができます。

ラクアル・オダサガの地下施設は駐車場・駐輪場になっており、地上は一階から四階までレストランや様々なショップが並び、他にもカフェ、美容室、不動産屋、歯医者：などなど、多岐にわたる業種のテナントが集結し、便利なスポットになっています。

相模大野駅周辺で芸術鑑賞はいかが？ ～グリーンホール相模大野～

おださがの隣駅である相模大野駅。この駅ビルであるestation SQUARE（ステーションスクエア）もグルメやショッピング、その他雑多な用事を済ますのに便利なスポットとしてもちろん健在。今回は相模大野駅から伊勢丹方面にちょっと足を延ばしてみました。

相模大野駅は改札階が二階なので、北口に出て左手側のエレベーターで地上へ。商店街を歩くと正面に見えてくるのが伊勢丹です。正面入口がある二階へあがるのに、一見ドーンと階段・エスカレーターがそびえています。その手前左手側の大和パーク駐車場にあるエレベーターを利用して二階にあがると、伊勢丹正面入口の吹き抜け広場に出ることができます。そのまま伊勢丹本館を抜けて奥に進んで行くと、『グリーンホール相模大野』が並びにあるのをご存知でしょうか？このホールで

は、管弦楽団や合奏団による演奏会、演劇、ミュージカル、落語家による寄席、歌手コンサート、オペラ、講演会などなど、数々の芸術芸能のイベントが年間を通して開催されています。日常を忙しく過ごしてしまいう私たちにとって、このような非日常を提供してくれる時間と空間は心身が癒されます。

多くの公演が行われる大ホールには車椅子席が完備されており、席までのバリアフリールートも確保されています。もう一つのホールである多目的ホールでも、バルコニー席で車椅子のまま観覧することが可能と

なっていますので、車椅子ユーザーでも芸術鑑賞をあきらめる必要はありません。こちらの多目的ホールは開催内容に合わせて会場内を可動させるため、チケットを購入するときは、どの公演でどのような車椅子席が利用できるのか、確認してからのほうが安心です。

公演内容やスケジューリングはホームページでチェックできます。クラシック音楽や古典芸能などを味わいに、あなたも是非出かけてみませんか？



＝インフォメーション＝

《小田急電鉄 ～小田急小田原線～》

○小田急相模原駅



地上～改札～各ホーム
(全てエレベーター完備)

○相模大野駅



地上～改札～各ホーム
(全てエレベーター完備)

《ラクアル・オダサガ》

小田急相模原駅直結

※営業時間は各店舗により異なる

※各階に多目的トイレ設置

《グリーンホール相模大野》

○チケットの購入

チケットムーヴ ☎ 042-742-9999

※車椅子席の販売もこちらで可能

※大ホール入口付近にあるチケットカウンターでも購入可能

○お問合せ

(財) 相模原市民文化財団

☎ 042-749-2200

<http://www.hall-net.or.jp/index.html>

ともしびショップ in 「県民センター」のご紹介

今回は、かながわ県民センター一階にある「ともしび喫茶」(運営「県手をつなぐ育成会」)をご紹介します。横浜駅西口より徒歩五分、「喫茶」の隣には「グッズコーナー」(十月号で紹介)があります。

県手をつなぐ育成会は、他にも四店を横浜市内で運営しており、各店との交流も図られています。



県民センター店には、現在、障害のある方が五名おり、三々四々で日々のローテーションを組んでいます。仕事にやっとな慣れてきた新人さんもいますが、忙しい毎日をみんなで力をあわせて働いています。

「二人じゃ生きていけない。みんなまで助け合って生きるのよ」と

伝えているという店長の住友さん。接客マナーはもちろん、社会的なマナーや掃除の仕方なども身につけられるようにしているそうです。時には厳しく、時には優しく、他のスタッフの方たちとともに彼らを見守る姿に愛情の深さを感じます。

平成三年に開店して以来、大勢の障害のある方がショップを通していろいろなことを経験し、学んでいきました。中には企業に就職した方もおり、元気な顔を見せに訪ねてきてくれたときは、何よりも嬉しかったとのことです。

苦しみも喜びも、彼らと一緒に乗り越えられたのかもしれない。これから多くの出会い・ふれあいが生まれることを願っています。

◇県民センターともしびショップ◇

横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

かながわ県民センター1階

☎ 045-311-1421代

川崎市の巻

さまざまなかたちの協働



南北に細長い川崎市は、多摩川の恵みを受け発展してきました。昭和四十七年に政令市に指定され、南部は京浜工業地帯の中核として、北西部は東京のベッドタウンとして今も人口増加が続きます。

必要なサービスを住民自らがつくる

多摩区・Mam's TIME

多摩区で実施されている保育つきの講座「Mam's TIME（ママズタイム）」は、乳幼児を子育て中の母親たちが自ら企画・運営しています。アロマテラピーやフラダンス等多彩な内容は、毎回抽選になるほどの人気です。

平成十四年、子育て支援サークルとともにママズタイムを立ち上げた多摩区社協の職員は、「子育てに忙しいお母さんが自分を振り返る時間を持つことで、母親としての気づき

や成長につながるのでは、との思いで企画しました」と話します。

初めは参加者側だったというママズタイム運営委員会のメンバーは、「自分の子と同じくらいの子を持つ方がいきいきと活動している姿を見て、『自分も何か役に立ちたい』と思い、運営に携わるようになりました。『子育ての合間に事務を行うのは大変』ですが、『お母さん方の喜ぶ顔を見ると達成感があるので続けられる』と前向きです。

ママズタイムの保育を担当するボランティアグループ「ぽけっと」は、区社協の養成講座を経て結成されました。メンバーの小林美智子さんは、「以前、ボランティアの方に子どもの面倒を見てもらったことがあり、お返しがしたい」と活動をつづけています。今や区社協の子育て支援事業全体を支えるパートナーとして「ぽけっと」は欠かせない存在になっています。

区社協では、「保育つき講座へのニーズは高く、運営委員会への支援や保育ボランティアの養成など担い手の一層の充実をめざしたい」と、住民の持つ力を丁寧な育てています。

地域で暮らす利用者のために

中原区・白楊園と西加瀬町内会

社会福祉法人育桜福祉会・白楊園は、知的障害者通所授産施設として昭和六十一年に開所しました。開所当初から地元の西加瀬町内会の会員となり、二十年以上も互いの行事を協力しながら取り組んでいます。

町内会の会長である横田昭次郎さんは、「町内会の事業計画にも白楊園への協力と参加をしっかりと記載しています。夏祭りは土日で園がお休みなので、利用者のみなさんには金曜日にお神輿を担いでもらっているんですよ」と、園が地域の行事に参加できるよう気配りをしています。

園のサービス管理責任者である佐野良さんは、「施設職員は異動等で変わりますが、地域と利用者の関係は変わりません。町内会の方々が園のことを地域社会の一員として自然に受け入れてくれるのは何よりの財産」と話します。このように地元町内会と強い絆で結ばれている一方、園の周辺エリアには新たな住民の転入も増えています。「住民の方から園に対してご意見をいただいた時

面積：142.70平方km
人口：1,371,629人（2007年11月現在）
高齢化率：15.6%
施設数：高齢者福祉施設等166
（特養・老健・グループホーム・デイサービスセンター等）
障害者福祉施設等183
（更生施設・授産施設・支援施設・地域作業所等）
保育所120、乳児院1、母子生活支援施設1、
児童養護施設2、障害児施設等（入所・通園施設）4

みんなに伝えよう！
介護の仕事、福祉の仕事

神奈川県介護福祉士養成校連絡協議会事務局
小林 根



平成19年は、介護職のイメージダウンにつながる報道が介護業界に吹き荒れました。コムスン事件をきっかけにしてマスコミが一斉に介護現場の人材不足や低賃金を報じるようになり、その結果、介護職を懸念する動きが全国的に広がりました。

介護福祉士を養成する教育機関でも今年度の学生募集は、かつてないほどの低調な結果となっています。折りしもこの8月、政府は社会福祉事業での人材確保指針を改正しました。その中で、国民に対して福祉・介護サービスの周知理解を図る、という項目があり、教育機関が生徒に対してボランティア体験の機会を提供したり、あるいはマスメディアを通じた広報活動を行ったりするという内容でした。

国もやっと重い腰を上げたところですが、官民を問わず、できることから始めてみてはと思います。「みんなに伝えよう！介護のこと、福祉のこと。きっと役に立つから。」という言葉が、今から10年以上も前の介護の現場で交わされていました。今一度、この言葉の意味を問い直し、介護がどんなに尊く、やりがいのある仕事なのか、また社会的にとっても重要で、世の中からどんなに必要とされているのか、ということのを正しく理解される社会を築いてゆければと思います。



西加瀬町内会の横田会長（右）はじめ、地域に住む方々とともに夏祭りは大いに盛り上がり、笑顔があふれます



12月21日の講座は、この季節にぴったりのクリスマスリース作り。子どもたちはボランティアと遊びながらお迎えを待ちます

は、住民の方々に園のことを分かっていたら大きく大きなチャンスだと思っています。町内会の力を借りながら利用者と地域のふれあいの機会をもっと作りたい」と、町内会を基盤に地域交流の広がりを目指します。

障害のある子どもが「育ちやすい」地域に 高津区・県立高津養護学校

去る十一月四日、県立高津養護学校を会場に、子どもたちとその家族、近隣の住民をはじめ福祉施設やボランティア、行政関係者等百三十人が集まり、震災を想定した避難所設営訓練や中越地震を体験した小学校の元校長先生の講演等が行われました。

訓練の前には当日の進行がスムーズに行くようにボランティア向けの講座も開催され、講師として参加した川崎災害ボランティアネットワーク会議代表の植山利昭さんは、「今回の訓練のような具体的なアクションを通して、積極的に地域への投げかけをしたい」と話し、今後は学校と近隣の防災関係グループとをつなげ、活動の展開をはかりたいといいます。

学校では障害のある子どもたちが暮らしやすい環境づくりを地域とともにすすめており、近隣の高校生と学校の子どもたちとの交流活動支援や、地域に住む障害者のための公開

講座等を行っています。地域支援担当教諭の今泉修一さんは、「地域の方に養護学校と子どもたちのことをもっと知ってもらい、学校以外での関係を築き、広げていきたい」と話し、今回の訓練後にはこれまでの実践の発表会を学校の作品展にあわせて開催し、さらには近所の住民向けに行事予定入りの手作り防災カレンダーの配布を行うなど、より一層地域との連携をすすめています。

川崎市内で展開されている取組みには、施設、学校、町内会など社会資源のそれぞれの持ち味が活かされ、特色ある協働の姿が築かれています。

県社協 の ひろば

ともしびポスター・絵本コンテストの入賞作品が決まりました

「みんながともに生きるまち」をテーマに、県内の児童・生徒の皆さんから作品を募集したともしびポスター・絵本コンテストは、ポスターの部が二十八回、絵本の部が二十一回を迎えました。今回は、ポスター千八百九十一点、絵本二百三十五点の応募があり、審査会を経て、両部門とも、ともしび大賞一点、最優秀賞六点、優秀賞・佳作各二十点、計四十七点ずつの入賞作品が選ばれました。



た。
去る十二月十六日に横浜情報文化センターで開催した表彰式では、温かい拍手が送られる中、本会林英樹会長をはじめ、後援団体の方から、入賞者に賞状・記念品等が授与されました。また、審査委員を代表し、ポスターの部は画家の土田邦彦さん、絵本の部は県立総合教育センター主幹兼研修指導主事の洪川隆男さんのお二人から、作品に対する講評とともに、今後への期待などが語られました。

入賞作品は、平成二十年三月十五日・十六日にかながわ県民センターで開催される「市民活動フェア二〇〇八」などで展示します。これからも作品を通して、子どもたちの思いを多くの方々に伝えてまいります。

(ともしび運動推進担当)

※本年度の「ともしび大賞」受賞作品は、本紙一面・十六面に掲載されています。

施設と住民の思いをつなげよう 社会福祉施設の地域福祉推進を 考えるセミナー

地域福祉とは、「共に生き、支え合う社会づくり」を、住民参加と関係機関・団体との協働・連携によって具現化していく取組みです。今回のセミナーは福祉施設が地域において果たす役割や福祉推進を担うコーディネーターの重要性について、事例報告を基に社会福祉施設等従事者、民生委員児童委員及び社会福祉協議会等の関係者が共に考える機会



として十二月七日に開催されました。

基調報告では、神奈川県立保健福祉大学教授の太田貞司氏より、介護保険

制度の見直し・医療制度改革等による福祉現場の実情を踏まえ、海外と日本の違い、高齢者福祉の推移や地域による支援の相違を示しながら生活や地域ケアの質の維持について解説いただきました。「福祉推進の活

性化には、地域福祉を大きくとらえ、施設や事業の枠を取り払い、地域住民と共に協働した取組みが重要」と話されました。

事例報告では、①(福)麗寿会総合施設長の福島廣子氏より、特別養護老人ホームが地域に向き、各関係機関と協働しながら講座・教室等を開催、住民と入居者が地域の一住民としてともに暮らすことを目指していることの取組み、②(福)横須賀基督教社会館田浦地域福祉センターのコミュニティワーカー利谷悦子氏より、住民自身によるまちづくりを目指し、ボランティア活動や福祉教育の促進等、隣保館が地域で活動を展開している取組み、コーディネーターの事例として③相模原市社会福祉協議会地域福祉グループ地区活動推進員の笠井佐知子氏より、児童養護施設と地区社会福祉協議会共催の子育てサロンが生まれるまでの取組みが発表されました。

地域福祉推進には、地域と施設が課題を共有すること、また相互を結ぶコーディネーター機能の重要性を改めて感じたセミナーでした。

(社会福祉施設・団体担当)

平成19年度介護支援専門員実務研修受講試験職種（資格）別合格状況

職 種	合格者数(人) ()内は昨年度	職種別比率 ()内は昨年度
介護福祉士	1,290(1,073)	63.17(58.3)
看護師	172 (179)	8.42 (9.7)
社会福祉士	160 (134)	7.84 (7.3)
介護等業務従事者	95 (141)	4.65 (7.7)
相談援助業務従事者	84 (134)	4.11 (7.3)
歯科衛生士	43 (25)	2.11 (1.4)
薬剤師	37 (19)	1.81 (1.0)
栄養士(管理栄養士を含む)	34 (18)	1.67 (1.0)
保健師	26 (21)	1.27 (1.1)
理学療法士	19 (17)	0.93 (0.9)
あん摩マッサージ指圧師	17 (19)	0.83 (1.0)
作業療法士	14 (14)	0.69 (0.8)
精神保健福祉士	11 (8)	0.54 (0.4)
准看護師	10 (23)	0.49 (1.3)
柔道整復師	9 (0)	0.44 (0.0)
言語聴覚士	6 (0)	0.29 (0.0)
医師	4 (3)	0.2 (0.2)
歯科医師	3 (6)	0.15 (0.3)
助産師	3 (1)	0.15 (0.1)
はり師	3 (3)	0.15 (0.2)
視能訓練士	2 (1)	0.1 (0.1)
義肢装具士	0 (0)	0.0 (0.0)
きゅう師	0 (0)	0.0 (0.0)
合 計	2,042(1,839)	100(100)

合格率は昨年度を上回る介護支援専門員実務研修受講試験結果

平成十九年十月二十八日(日)、
「第十回介護支援専門員実務研修受講試験」を実施しました。

県内五カ所(相模女子大学他)の
会場で、受験者数は八、一〇六名、
合格者は二、〇四二名(合格率二
五・二%)でした。合格率は昨年度
を若干上回っています。

職種別の合格者は表のとおりです。

受験者数は例年増加傾向にあり、

その中でも、介護福祉士の資格保有

者が全体に占める割合は、ここ数年

顕著な増加傾向です。

合格者に対する実務研修は二月上
旬から、本会、横浜市社会福祉協
会、川崎市社会福祉協議会で実施
します。

(福祉人材研修・

介護支援専門員支援担当)

地域密着型サービス外部評価の結果を公表しました！

ための支援などの百項目について自
己評価を行い、そのうちの三十項目
が外部評価の対象となります。

今回の評価結果から、地域密着型

サービス事業所として、地域との交
流・連携を積極的に進めていること、

利用者のペースや好みに合わせた生
活支援が行われていることなど、地

域で暮らす高齢者のための事業とし
てその特徴を発揮している姿が見え
てきました。

評価結果の公表により、地域密着

型サービス事業所に対する地域社会

の理解がより深まっていくことを期

待します。

(福祉サービス第三者評価担当)

新しい外部評価は、地域とのかか
わりやその人らしい暮らしを続ける

平成19年度 地域密着型サービス外部評価 受審事業所一覧

No	事業所名	所在地
1	清徳会グループホーム横浜	神奈川区
2	フェローズガーデン西寺尾	神奈川区
3	グループホーム シエル 西横浜	西 区
4	スカイホーム横浜	西 区
5	サリューブルあさひ式番館	旭 区
6	グループホーム そよ風	金 沢 区
7	ほのぼのほーむ	金 沢 区
8	グループホーム まっとう	緑 区
9	グループホーム プラチナ・ヴィラ青葉台	青 葉 区
10	グループホーム 万寿の森	青 葉 区
11	高齢者グループホーム 横浜はつらつ	都 筑 区
12	高齢者グループホーム 横浜ゆうゆう	都 筑 区
13	グループホーム横浜名瀬・彩り	戸 塚 区
14	スカイホーム 湘南	戸 塚 区
15	梨雲ハウス平戸	戸 塚 区
16	グループホーム アカシヤの家	泉 区
17	グループホームみんなの家 横浜飯田北Ⅰ	泉 区
18	グループホームみんなの家 横浜飯田北Ⅱ	泉 区
19	グループホーム麻生	麻 生 区
20	グループホーム アイ・ウィッシュ	横須賀市
21	グループホーム アイ・ウィッシュ馬堀	横須賀市
22	グループホームこころ	横須賀市
23	グループホームなごみ	横須賀市
24	グループホーム 鎌倉常盤の家	鎌 倉 市
25	ナノス鵜沼	藤 沢 市
26	グループホーム すみれの家	大 和 市
27	グループホーム こゆるぎの家	大 磯 町
28	グループホーム かわわの家	二 宮 町

※すべて認知症高齢者グループホームです
◇評価結果はWAMNETや本会ホームページ等で公表しています

役員会の動き

◇理事会Ⅱ平成19年12月20日(木)
①正会員の入会申し込み、②県社協
経理規程の一部を改正する規程
(案)、③平成20年度県社協事業推進
方針(案)

◇新会員紹介

◇施設部会Ⅱつちのこ保育園、サン・
キッズ湘南、サンステージ湘南、シ
ーサイド湯河原、おあしす湘南、ワ
ークショップ・SUN、アガペ第2
作業所

精神保健福祉ボランティアセ ミナー

精神保健ボランティアの活動から
学びあい、交流しあい、精神障害者
を支えるネットワークについて考え
ます。

◇日時Ⅱ平成20年2月2日(土) 13
時~17時

◇会場Ⅱかながわ県民センター12階
第2会議室

◇内容Ⅱ基調報告「訪問活動からみ
た精神障害者の生活課題」(秦野病院
看護師長 山下えみ子氏)、活動報
告(はあとネットワーク港北、特非
CMCC、かもめサポート)

◇定員Ⅱ60名(申込み制)

◇参加費Ⅱ500円(資料代)

◇問合せⅡかながわボランティアセ
ンター ☎045-312-1121

内線3242

第4回かながわ地域リハビリ テーションフォーラム

地域リハビリテーションの観点か
ら、地域包括ケアシステムをどのよ
うに構築すべきかを考えます。

◇日時Ⅱ平成20年2月3日(日) 13
時~16時20分

◇会場Ⅱ県総合医療会館7階講堂
(横浜市中区富士見町3-1)

◇内容Ⅱ①特別講演「リハビリテー
ション医療のブランドデザイン」が
意味するもの(日本リハ病院・施設
協会副会長 石川誠氏)、②シンポ
ジウム「地域リハビリテーション推
進事業の成果と今後の課題」(石川貴
美子氏、森貴久氏、逢坂悟郎氏)

◇定員Ⅱ300名

◇申込み方法等Ⅱ所定の申込書また
はインターネットにより、県リハビリ
テーション支援センターまで申込み。

◇問合せⅡ県リハビリテーション支
援センター ☎046-249-2602

URL=http://www.chiki-shie
n-hpkanagawa-rehab.or.jp/

第6回アイフェスタin横浜

視覚・聴覚の障害を補う機器や便
利グッズの体験と、専門家との相談
会。入場料無料。

◇日時Ⅱ平成20年2月10日(日) 10
時~16時

◇場所Ⅱかながわ県民センター

◇内容Ⅱ①機器展示会、②相談会、
③交流会、④盲導犬体験教室
◇対象Ⅱ視聴覚障害者及び家族、保
健・福祉・教育関係者、学生等
◇問合せⅡ日本網膜色素変性症協会
神奈川支部 ☎045-985-6235

NPO、ワーカーズ・コレク ティブ人材養成講座

07年11月から始まった「NPO、
ワーカーズ・コレクティブ人材講座」
の3日目。今回初めての方も参加で
きます。

◇日時Ⅱ平成20年2月7日(木) 13
時30分~16時

◇場所Ⅱかながわ県民センター 3
01会議室

◇内容Ⅱ講演会「組織を活かす事務
局」(横浜市市民活動センター事務局
次長 川崎あや氏)

◇対象Ⅱ県内事業系NPO、ワーカーズ・コレクティブの事務局の方等

◇定員Ⅱ60名

◇申込み締切Ⅱ1月25日(金)

◇問合せⅡ県商工労働部労政福祉課
労働福祉・男女雇用平等班
☎045-210-5744

寄付金品ありがとございました

「一般寄託金」▽県大衆音楽協会▽妙深
寺婦人会▽藤岡昭夫▽広瀬公子▽脇隆志
「交通遺児援護基金」▽株小田原ジムキ
「子ども福祉基金」▽子ども福祉基金基

神奈川県福祉研究会

(税務・会計の専門家グループ)

理事 伊藤 正孝(☎045-412-2110)
同 桑江 郁男(☎045-402-4433)
同 辻村 祥造(☎045-311-5162)
同 西迫 一郎(☎046-221-1328)
同 林 雄一郎(☎0466-26-3351)

代表理事 八木 時雄(☎042-773-9266)

一般家庭から大型ビルまで
最新のエレクトロ技術により
安心と安全を提供します。

京浜警備保障株式会社

代表取締役社長 谷 口 嘉 弘

本 社 〒221-0056 横浜市神奈川区金港町5番地10 金港ビル4F内
☎(045)461-0101 代表 FAX (045)441-1527

あなたの情報発信のおてつだい
デザイン・印刷・ホームページ制作



株式会社 神奈川機関紙印刷所

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 2-1-12
営業部 TEL045(785)1700(代) FAX045(784)8902
制作部 TEL045(785)1788 FAX045(780)1588
http://www.kki.co.jp/

金箱（県社会福祉会館設置）「としび基金」▽県看護協会▽県共同募金会▽県身体障害者連合会▽県老人クラブ連合会▽統合事務局▽県社会福祉士会▽県介護福祉士会▽県交通遺児家庭の会▽県ホームヘルプ協会▽県福利協会▽県医療福祉施設協同組合▽県保育会▽県保育士会▽ゆりの会▽県肢体不自由児協会▽県心身障害児者父母の会連盟▽県肢体不自由児者父母の会連合会▽県高齢者福祉施設協議会▽としびミュージアム店▽としびショップスマイル▽としびショップ県庁店▽としびグッズコーナー▽県民センターとしびショップ▽県私学団体連合会▽JA湘南・横浜・かながわ西湘▽富士シティオ（株）FUIJII鶴嶺・大船・松ヶ丘・倉見店▽スリーエフ日ノ出町駅前店▽箱根老人ホーム▽県健康生きがいづくりアドバイザー協議会▽港栄館▽よしの湯▽第二大和湯▽中島湯▽喜久の湯▽里の湯▽日栄浴場▽湯河原バッキーボウル▽（社）県技能士会連合会▽湯河原中央温泉病院▽県公衆浴場業生活衛生同業組合▽紫雲会横浜病院▽県社協職員一同▽箱根町社協▽ブランドスウィックスポルト横須賀▽（社）県薬剤師会▽聖テレジア病院▽ゴルフガーデンフォーレスト▽ポールライトひかり▽県立音楽堂▽矢部の湯ファミリールランドさくらゆ▽横浜エクセルホテル東急▽千代田湯▽県企業庁経営局経理課▽平塚・川崎各高等職業技術校▽県土整備部都市整備公園課▽酒匂川下水道整備事務所▽県障害者就労相談センター▽相模川水系ダム管理事務所▽大和・伊勢原・二宮・箱根各水道営業所▽県央・湘南各家畜保健衛生所▽県立総合教育センター▽神奈川・戸塚・緑・麻生・横須賀・鎌倉・津久井・大和各県税事務所▽相模原・小田原・厚木各児童相談所▽矢部・旭・金沢総合・上郷・津久井浜・平



本年も神奈川トヨタ自動車（株）より、児童福祉施設へのケーキの贈呈式が行われました（写真は日本水上学園にて）

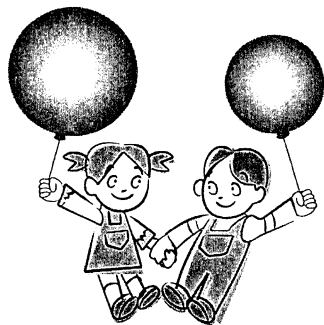
塚工科・五領ヶ台・城山各高等学校▽県青少年センター▽津久井・高津・平塚・湘南各養護学校▽横須賀三浦・県央・湘南・足柄上・県北各地域県政総合センター▽県総合防災センター▽高相津久井・中・足柄下・愛甲各教育事務所▽県精神医療センター▽かながわ農業アカデミー▽温泉地学研究所▽バスポートセンター▽県央支所▽厚木・平塚・鎌倉・茅ヶ崎各保健福祉事務所▽厚木・横須賀・小田原各土木事務所▽県庁職員一同▽県警職員一同▽家畜病性鑑定所▽自動車税管理事務所▽県立金沢文庫▽障害者職業能力開発校▽県立よこはま看護専門学校▽三浦しらとり園▽県立歴史博物館▽農業技術センター足柄地区事務所▽県立川崎図書館▽県水産技術センター▽横浜・川崎各治水事務所▽循環器呼吸器病センター▽かながわ女性センター▽県立生命の星・地球博物館▽県川崎労働センター▽病院局県立病院課▽遠藤寂香▽鈴木正信（計一、三三四、〇八五円）

【寄付物品】マイオン1%クラブ▽県庁職員一同▽県定年間問題研究会▽マジソン（株）▽トヨタ自動車（株）▽神奈川トヨタ自動車（株）▽横浜公共職業安定所雇用保険適用課▽川崎規世▽斎藤真理子▽清水よしゑ（敬称略）

安心を支えます

ボランティア活動保険

ボランティア活動中のケガや賠償事故を幅広く補償！



特長

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 防災・災害のボランティア活動も補償
- ボランティア自身の食中毒や熱中症も補償
- 地震等天災によるケガも補償（天災タイプ加入の場合）

ボランティア行事用保険

ボランティア行事に参加中のケガや賠償事故を補償！

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャー等の活動中のケガや賠償事故を補償！

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の交通事故によるケガを補償！

保険料（掛金） Aプラン...280円 Bプラン...460円 Cプラン...650円
天災危険補償タイプもあります。

お申込み、ご照会は、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

http://www.fukushihoken.co.jp

〈引受幹事会社〉日本興亜損害保険 株式会社



『いつもえがおで』

横浜市立十日市場小学校

6年 石川 真吾



第二十一回ともしび絵本コンテストで大賞を受賞した石川真吾さん(小6)。今回の受賞を祖母が喜んでくれたことが嬉しかったといっています。

亡くなった祖父との思い出を通して、笑顔の大切さを教えてもらう様子が、淡く優しい色調で描かれています。

笑顔は人の心を癒し、悲しみも乗り越えられる力を持っていることにあらためて気づかされます。

(ともしび運動推進担当)



一社会福祉施設の設計監理一

株式会社 安江設計研究所
YASUE & ASSOCIATES' Inc.

東京都港区高輪2-19-17-808
TEL 03(3449) 1771 / FAX 03(3449) 1772
URL: www.yasue-sekkei.co.jp
E-mail: yasue@yasue-sekkei.co.jp



S 保育園(横浜市)

新築・増築・改修の他、耐震診断・建物定期報告・アスベスト調査等お気軽にご相談ください